

日本商業教育学会報

No. 26 平成27年3月31日

日本商業教育学会

Japan Academic Society of Business Education

会長挨拶

会長 中澤興起

平成27年度を迎えました。会員の皆様にはお健やかに過ごしのことと拝察いたします。

本年度は新しい学習指導要領の完成年度を迎えます。「生きる力」の理念の基に「基礎的な知識・技能の習得、それらを活用して課題を解決するための思考力、判断力、表現力の育成、自ら学習に取り組む態度の育成」の成果が示されます。

尤も、商業教育は単なる知識の詰め込みではなく、学習成果を活用し実践する教育を既に行っております。例えば、商品開発に関してみても、平成25年度までに開発された商品は670件に及びます。しかも、ただ開発するだけでなく、それらの商品について商標権を57件、意匠権を7件、実用新案権、著作権を各1件ずつ、登録しています。また、これらの開発商品やマーケティングの学習で選択した地域の商品などのネットショップでの販売、学校デパートや地域での商品販売など、商業高校ならではの活動を通し、学習成果の活用を行っています。^(注1)更に、思考力、判断力、表現力の育成のために、ディベートを取り入れた授業、ケーススタディによる授業、ケースメソッドを取り入れた授業など、全国で研究・実践がされております。

けれども、これらの成果や試みは、マーケティング分野やビジネス経済分野で多く見られるものの、会計分野やビジネス情報分野ではあまり見受けられません。本学会では「ビジネス（商業）教育の魅力発信し、ビジネス（商業）教育の課題に対応する」ために、2年間、全国の部会・支部で研究し、その成果を北海道大会で発表いたしました。詳細は商業教育論集第26号に掲載されておりますが、愛媛支部が担当した「簿記教育の魅力発信し、簿記教育

の課題に対応する」発表で、教員、生徒、社会人に対して行ったアンケート結果が報告されております。教員が考える簿記教育の魅力は、「財務諸表を読みとることができ、企業経営、更には経済を理解できること」即ち、活用できる力であり、次に、「社会で役立つ資格、就職に有利な資格」と回答されています。これに対して生徒は、数人が「企業の財政状態や経営成績が解る（類似も含む）」と回答しましたが、多くが資格や検定などの取得についての回答になっています。このことは関西大学の研究「会計教育に関するアンケート：高校生向けアンケートの結果」^(注2)でも「なぜ会計の科目を履修していると考えていますか」の問いに、「検定資格の学習に結びつくから、大学進学に有利と考えるから」が大半を占めています。事実、大学など上級学校への進学の要件として高度な資格取得も有りますが、資格取得を目的とする教育が学習結果を活用する力になるかどうか、会計分野、ビジネス情報分野の魅力をもっと考えなくてはならない一面でもあります。

さて、本年度の総会・研究大会は、「グローバル化する社会に対応する今後のビジネス（商業）教育の在り方」を統一論題として、8月8日・9日に千葉商科大学で開催されます。今日の社会はいろいろな意味で「グローバル化」しており、卒業後、そのような社会で活躍する商業高校生の教育はいかにあるべきか、多くの視点から研究成果が発表されることを期待しております。

注1 文部科学省西村修一先生提供資料

注2 科学研究費基礎研究 25245257【会計リテラシーの普及と定着に関する総合的研究 研究代者 柴 健次氏】

創立 25 周年記念 第 25 回全国（北海道）大会開催報告

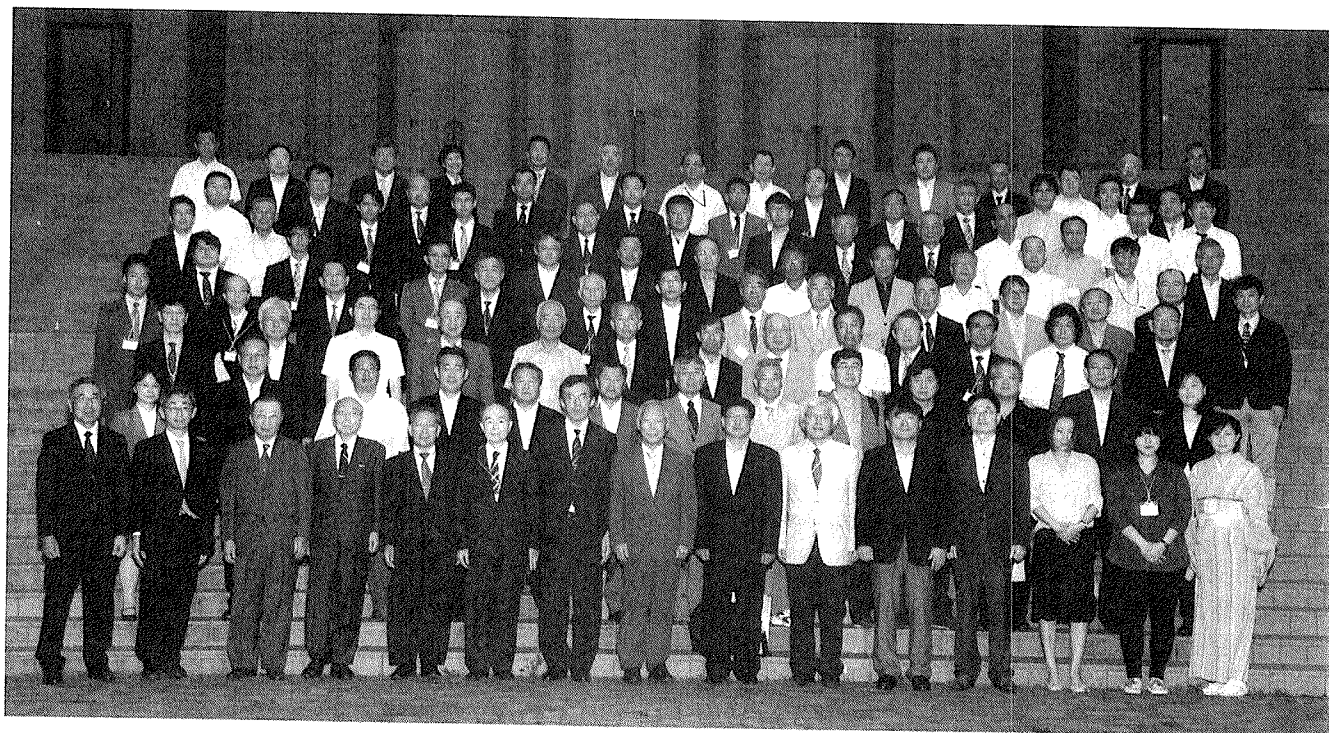
広島市で土石流による大規模な土砂災害が発生してから3日後、創立25周年記念第25回全国（北海道）大会が、8月23日（土）、24日（日）の2日間に亘り、北海道江別市の札幌学院大学を会場として開催されました。本大会の研究報告は、各部会・支部にご担当していただいていた学会本部指定統一論題の報告のみとなり、参加者減も心配されましたが、全国各地から本学会会員をはじめ商業教育関係者130名超の参加者をお迎えし開催することができました。北海道では、平成17年度に第16回全国大会を開催しておりますが、その時とほぼ同数の参加者であり主管した北海道部会としても一安心でありました。本大会は、創立25周年の記念大会でもあり、開会式に続いて記念式典が挙行され、功労者への表彰が行われましたが、学会の四半世紀に及び歴史を振り返るとともに今後の発展を期待する機会ともなりました。

北海道大会は、平成25年度より高等学校で新学習指導要領が実施されたことに伴い、『ビジネス（商業）教育の魅力を発信し、ビジネス（商業）教育の課題に対応する』という統一テーマに基づく2年間の本部指定による研究の報告年でした。各部会の先生方から意欲的な11

本の報告、統一論題に関するパネルディスカッションが行われ、会員にとって大いに参考になりました。

札幌学院大学G館8階ラウンジを会場に催された教育懇談会には、韓国経営教育学会会長An Sung Chul様、文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官西村修一様にも出席をいただきました。テーブルに用意されたお寿司、お刺身や郷土料理を肴に、北海道限定商品「札幌クラシック」の生ビールや地酒、地ワインなどを酌み交わし、出席者同士が親交を深めたり、教育論議に花を咲かせたりと、時間の経つのを忘れるほど親睦を深めることができました。終わりには、次期大会の開催地、関東部会と千葉支部からご案内のごあいさつがあり、楽しい宴もお開きとなりました。

最後になりましたが、会場として学内の施設・設備の使用につきましてご高配を賜りました札幌学院大学の皆様には衷心よりお礼申し上げます。また、開会式にご臨席の上、ご挨拶を賜りました札幌学院大学学長鶴丸俊明様、文部科学省教科調査官西村修一様には、貴重な講演もしていただきました。ここに改めて感謝申し上げます。



創立 25 周年記念 日本商業教育学会第 25 回全国（北海道）大会
平成 26 年 8 月 23 日・24 日 札幌学院大学

大会概要

統一論題：「ビジネス（商業）教育の魅力を発信し、ビジネス（商業）教育の課題に対応する」

会場：札幌学院大学

第1日 8月23日（土）（受付 11:50～）

1. 開会式（12:30～12:40）
会場 301 教室
2. 記念式典（12:40～13:00）
会場 301 教室
3. 会員総会（13:00～13:30）
会場 301 教室
 - (1) 平成 25 年度事業報告及び決算報告
 - (2) 平成 26 年度事業計画及び予算案
4. 講演 I（13:40～14:40）
会場 301 教室
演題：『研究と教育—考古学者としての私の実践—』
講師：札幌学院大学学長 鶴丸俊明先生

5. 統一論題研究報告 I（14:50～16:20）
会場 301 教室
研究報告①『シートで学ぶ現代マーケティング』
札幌学院大学 碓井和弘
北海道苫小牧総合経済高等学校 宮本磨巳子
研究報告②『ビジネス経済分野の指導について—事例をとおして経済の基本概念を理解させる—』
富山県総合教育センター 谷内祥訓
研究報告③『簿記教育の魅力発信し、簿記教育の課題に対応する—簿記教育の魅力と課題—』
愛媛県立今治北高等学校 大田誠治

6. 日韓学術交流会（16:30～17:30）
会場 301 教室
韓国経営教育学会報告
 - ①『米国保険社の民営介護保険の運営事例に関する研究』
東西大 柳 成京
 - ②『韓国の女性専門人材養成のケーススタディー—S 女子商業高校を中心に—』
Baewha Women's University
Yoon, Kwan-Ho
Nam Seoul University Yoon, Suk-Gon
 - ③『韓国の商業教育の史的考察』

Baewha Women's University
Yoon, Kwan-Ho, Choi, Yun-Yeong

- ④『The Leadership of Subjective well-being』
Hypsung University Lim-Jung Lee
- ⑤『An Introduction on O2O as a new business model in Electronic Commerce』
Shandong Normal University
Shuo Zhang
Kongju National University Jong-Ho Lee
Mongolian State University of Agriculture
Bat-Amgalan Ganlkhagva
Tongmyong University Deok-Byeong Yoon
Nimra Institute of Science & Technology
Rajasekhara Mouly Potluri
- ⑥『グローバルヘルスケア活性化の方案』
柳韓大学 梁在英

※記念写真撮影（17:40～18:00）中庭階段
※教育懇談会（18:15～20:15）
会場：札幌学院大学 G 館 8 階ラウンジ

第2日 8月24日（日）（受付 8:40～）

7. 統一論題研究報告 I（9:00～10:00）
会場 301 教室
研究報告④『情報処理を中心としたビジネス情報分野の指導内容に関する研究』
関東部会（埼玉支部）三輪 全
研究報告⑤『ドラッカー流経営理念から新たな総合学習への展開～未来の経営戦略を担う人材育成を期した新科目「ビジネスデザイン」の提案～』
岩手県立一関第二高等学校 西谷成昭
8. 統一論題パネルディスカッション
「ビジネス（商業）教育の魅力発信する」
（10:05～11:00）
パネラー
 - (1) マーケティング分野 北海道部会
 - (2) ビジネス経済分野 北信越部会
 - (3) 会計分野 四国部会
 - (4) ビジネス情報分野 関東部会（埼玉支部）
 - (5) 総合経済分野 東北部会
9. 統一論題研究報告 II（11:10～12:10）
会場 301 教室
研究報告⑥『行政施策の調査検討』
千葉県立下総高等学校 塚本 宏
研究報告⑦『社会科学としての「商業」教育の深化—地方から全国へ発信できるブラッシュ・アップした学校経

営を目指して一』

久留米市立久留米商業高等学校 江頭 彰
※昼食・休憩 (12:10 ~ 13:00)

10. 統一論題研究報告 II (13:00 ~ 15:10)

会場 301 教室

研究報告⑧『企業との連携体制～商業高校に
おける人材育成教育の在り方～』

三重県立四日市商業高等学校 田中三雄

研究報告⑨『大学等との連携体制について一
(総合高専構想と商業高専) 一』

関西部会 (兵庫支部) 南谷雄司

研究報告⑩『岐阜県立岐阜商業高等学校の高
大連携について』

岐阜県立岐阜商業高等学校 田中英淳

研究報告⑪『校種間連携を活かした商業クラ
ブ「チャレンジショップ Rikka」

を中心とした活動と中学校や中等

教育学校教員の実践を参考にした

観点別評価と教育課程』

新潟県立高田商業高等学校 平倉哲夫

11. 講演 II (15:20 ~ 16:20)

会場 301 教室

演題:『商業教育に魅力はあるか』

講師:文部科学省初等中等教育局児童生徒課
産業教育振興室教科調査官文部科学省
国立教育政策研究所教育課程研究セン
ター教育課程調査官 西村修一先生

12. 閉会式 (16:20 ~ 16:30)

会場 301 教室

(1) 次期開催地代表者の案内

(2) 閉会宣言

講演 I

『研究と教育一考古学者としての私の実践一』

札幌学院大学学長

鶴丸俊明先生

最初に私が学生の興味を引くためにする話を
一つさせていただきます。

考古学を専攻して大学に入学しましたが、し
ばらくは大学の授業を受けて、しっかりと基礎
を身につけてから発掘調査に出なさいとの指導
で、一年近く、調査には出られませんでした。
2年生になる直前に大学が推薦する5つの現場
のどこかを選ぶことになり、学生は勇んでエン
トリーしました。私が申し込んだのは広島大学
が実施している旧石器時代という古い時代の遺

跡の発掘でしたが、選考結果を見ると、私は平
城京の発掘現場となっていました。希望通りにな
ったのは一人もいない。研究室に何かの間違
いではないかと聞いたところ、今から自分の興
味を狭めないでいろいろな勉強をなさい、それ
を徹底するためのアンケートだという。その
結果、平城京の現場で1か月近くを過ごすこ
とになりました。その体験発掘が間もなく終
わるという時に、ある建物の前から直径40cm
位の穴が出てきました。それを現場の先生に伝
えたところ、「これを掘ると中から蓋がついた
壺が出てくる。図面を取り、写真を撮るから、
それまで君は見えていなさい。その後が君の仕
事だ」と言われました。その後、壺の蓋を開け
ると、水が入っていました。1200、1300年
の間に壺の中に浸み込んでいった水です。それ
を財研究所に運んで、大きなスポイトで水を少
しずつ出していくと、一番底に方形を形作るよ
うに4枚の日本最古級のお金・和同開珎が入っ
ていました。他には硯(すずり)が一枚と筆と思
われる竹の棒が1本。先生にこれは何かとお聞
きたところ、「他にもお金だけのものも含めて
いくつかの例があるのだが、まだわからない。
わかったら連絡してあげるから」とおっしゃ
いました。それから3年後、私が卒業を控えた3
月に研究室を通して、その先生から国会図書
館にある文献のコピーが添えられた手紙をいた
だきました。そこには次のようなことが書かれ
ていました。奈良・平安時代の出産の際には妊
婦が寝ている壁に借地文が貼りだされる。借
地文は妊婦が寝ているところから天地・東
西南北に20歩ずつの空間を生まれてくる子
どものために、貸していただくという内容で
す。いよいよ陣痛が始まるという時、部屋
の中や廊下に一族の女房どもが詰めかける。
その時、亭主はお酒の入った瓶を片脇に抱
えて屋根にまたがって、男の子が生まれたら
、左側に落とし、女の子だと右側に落として
、神様に感謝の気持ちを伝える。その後、男
の子の場合にはお金4枚に硯と筆を、女の
子の場合には針と糸を、それぞれ「胞衣(え
な)一胎盤のことです」とともに壺に入れ、
人通りの多いところ埋めて、たくさんの人
に踏まれてたくましく育つように祈るという
ように記されていました。この話を学生にし
た後、「今話を聞いてどう思いますか」とい
うアンケートを取ります。親が子を想う気持
ちは昔も今も変わらないですねという反応が
4割、全く無反応が2割、あとの2割には、
発掘の際の先生が学生との約束を覚えてい
て3年後に知らせてくれたことへの驚きや、
研究が